











敵襲...

ぎゃあ

わあ  
ああ



敵軍自身後  
怒號著  
發動奇襲

面對這突發情況  
無人能保持冷靜



被襲擊的一方  
引發了  
恐懼的連鎖

多數情況下  
即便擁有成倍戰力  
也會潰不成軍

不行了少主  
快逃吧！

對方的奇襲  
已經得逞  
形勢無法  
逆轉了！

少主！



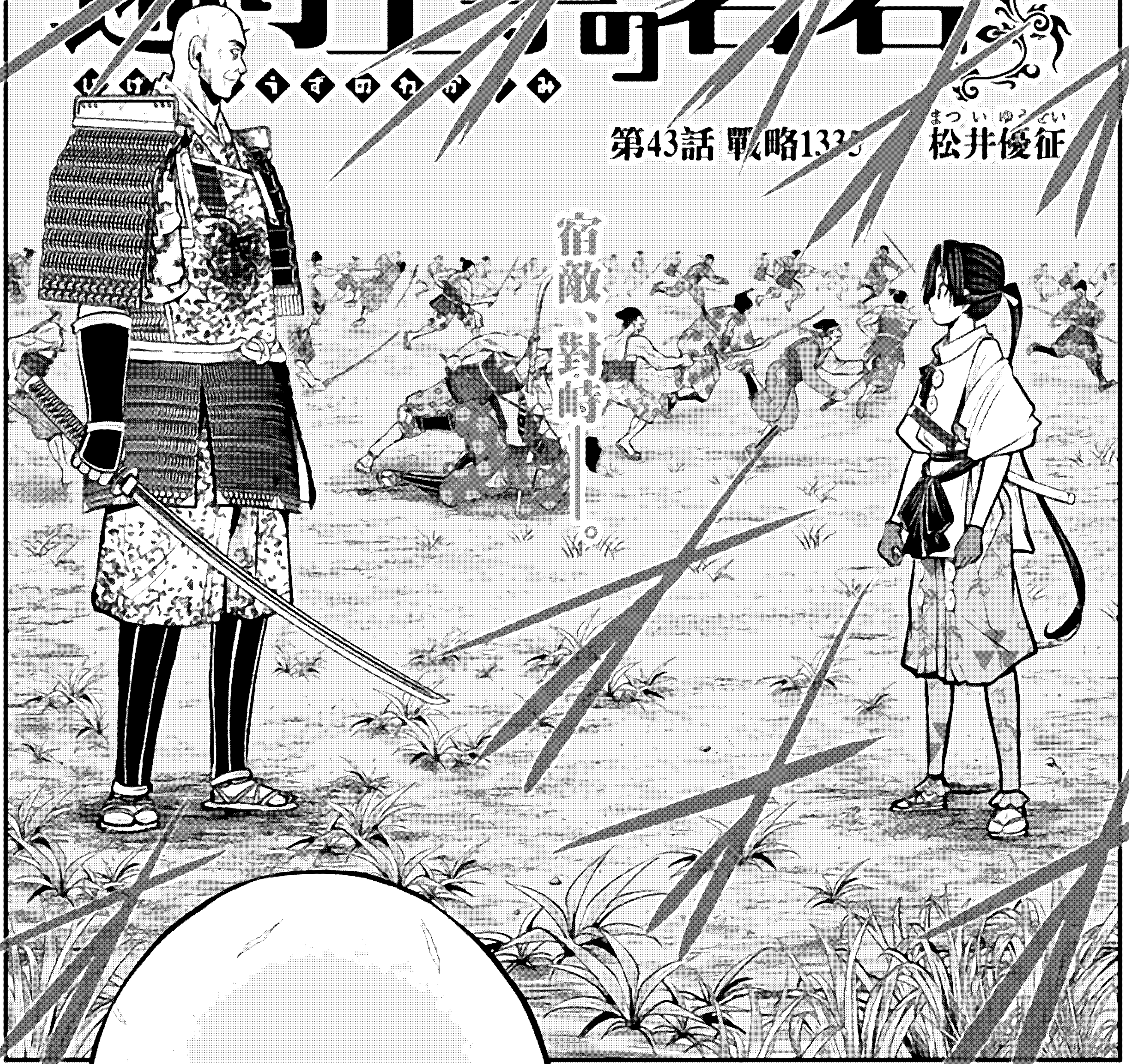


# 逃げ上手の若君

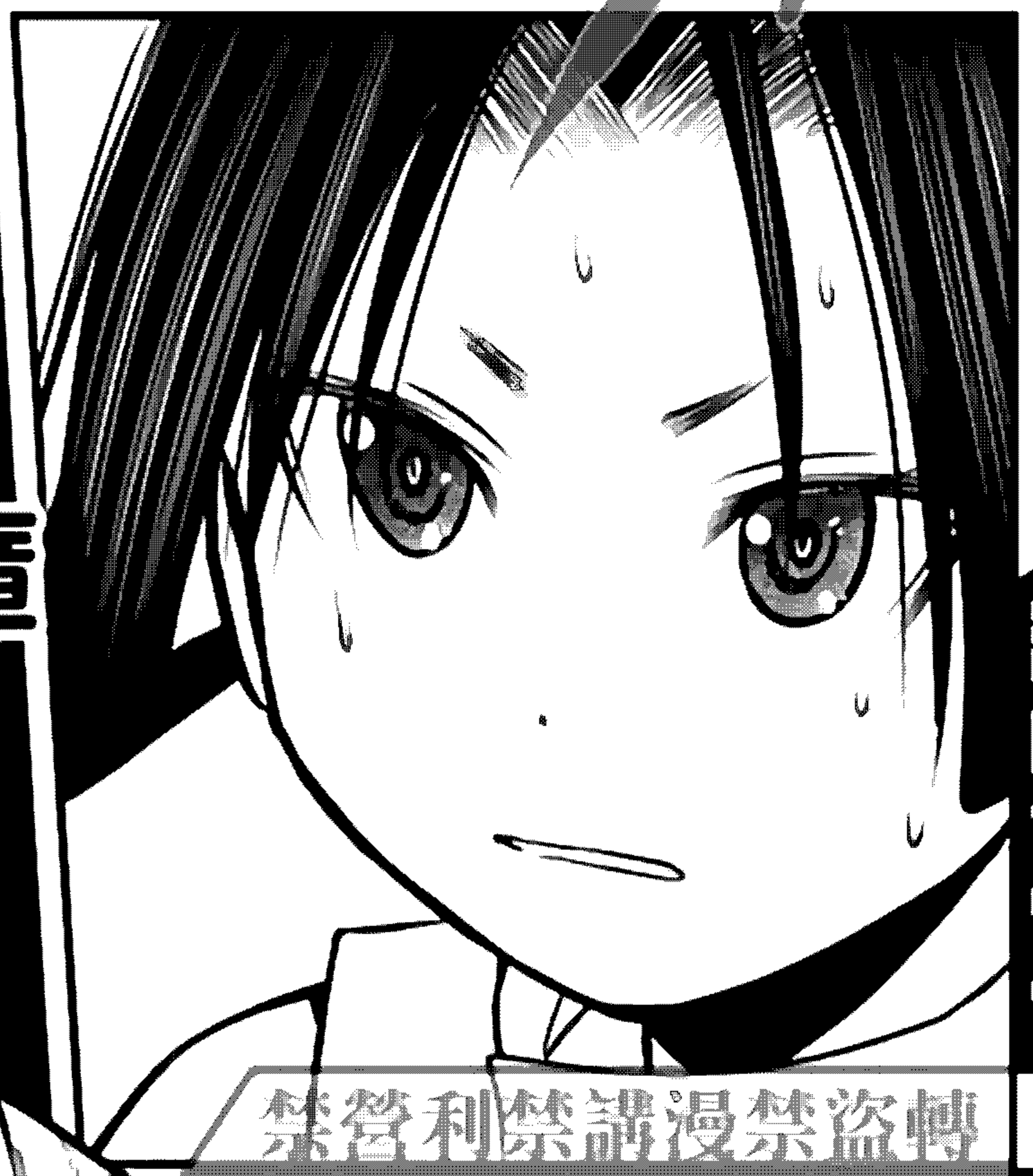
第43話 戦略1325

まつい ゆうせい  
松井優征

宿敵、対峙



痺...



漫画家 松井優征

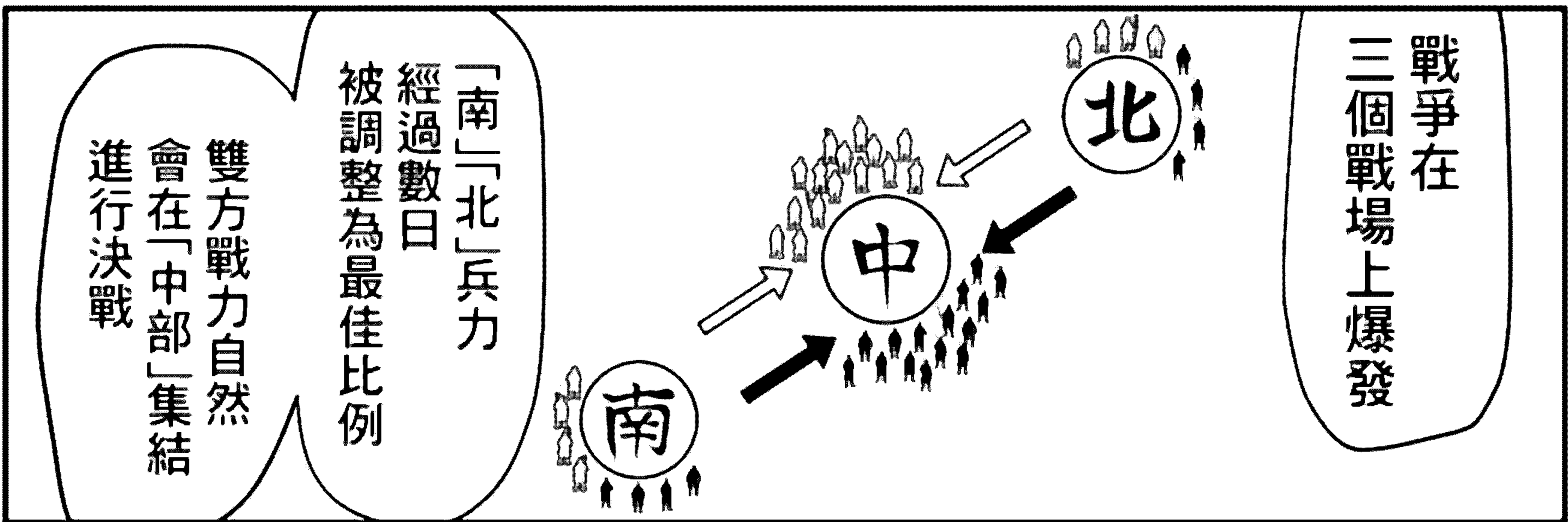




…混蛋

當時我看  
屍體消失…

就覺得  
事情不對了



戰爭在  
三個戰場上爆發

北

中

南

「南」「北」兵力  
經過數日  
被調整為最佳比例

雙方戰力自然  
會在「中部」集結  
進行決戰



分析  
各陣營兵力

可以預見  
決戰將在開戰  
四天後展開

四宮本陣

保科本陣

国司本陣

配合時間  
在深山中  
行軍三日



在此之上

盜取國司  
秘密兵器的情報  
作為策略的一環

這玩意終究  
無法左右戰局

用來引起  
場上士兵的注意  
倒正合適

就讓隱藏在  
後山的埋伏軍

一口氣接近  
四宮本陣

發動奇襲

趁眾人的注意  
被國司的神輿  
吸引

保科・四宮軍  
被它分散  
戰力時



這就是戰略  
長壽丸殿下

戰……略……

只會靠  
東逃西竄  
打贏末流大將

守住那些  
小村落

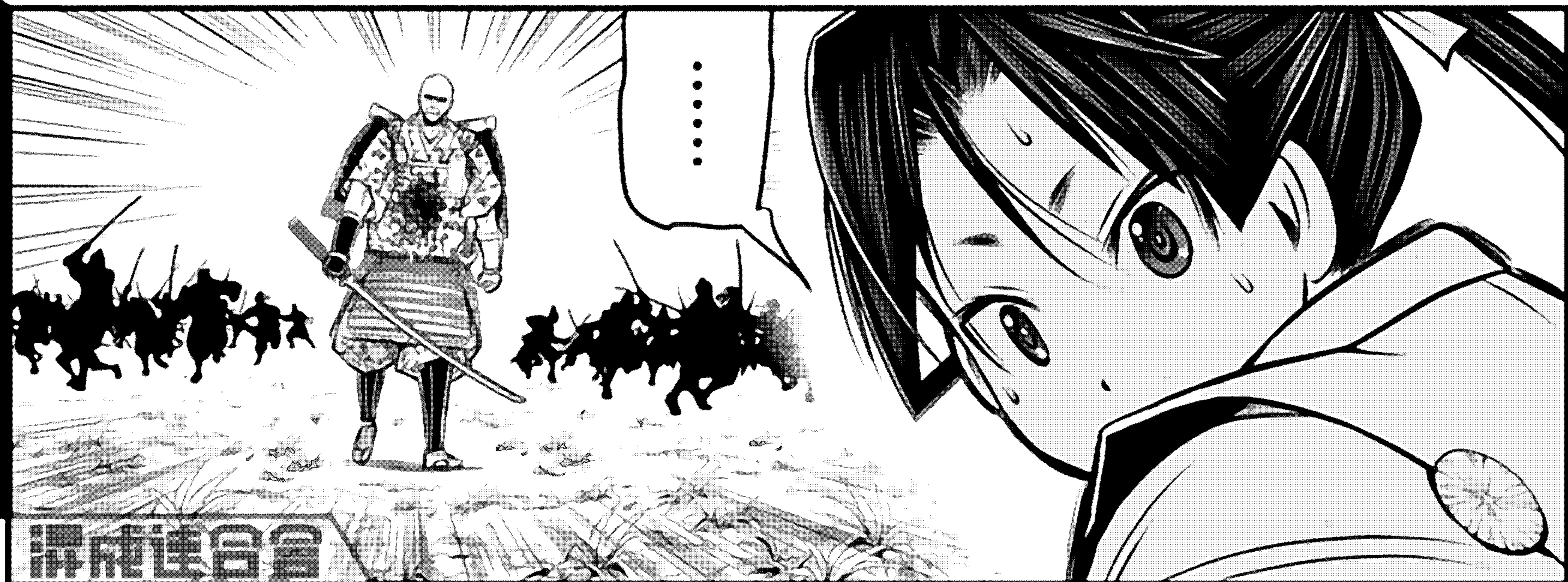
卻不能預判  
大局的走向……

將來可無法  
和大人物抗衡啊

怎麼早不讓  
楠木殿下  
教你作戰呢

チヤッ





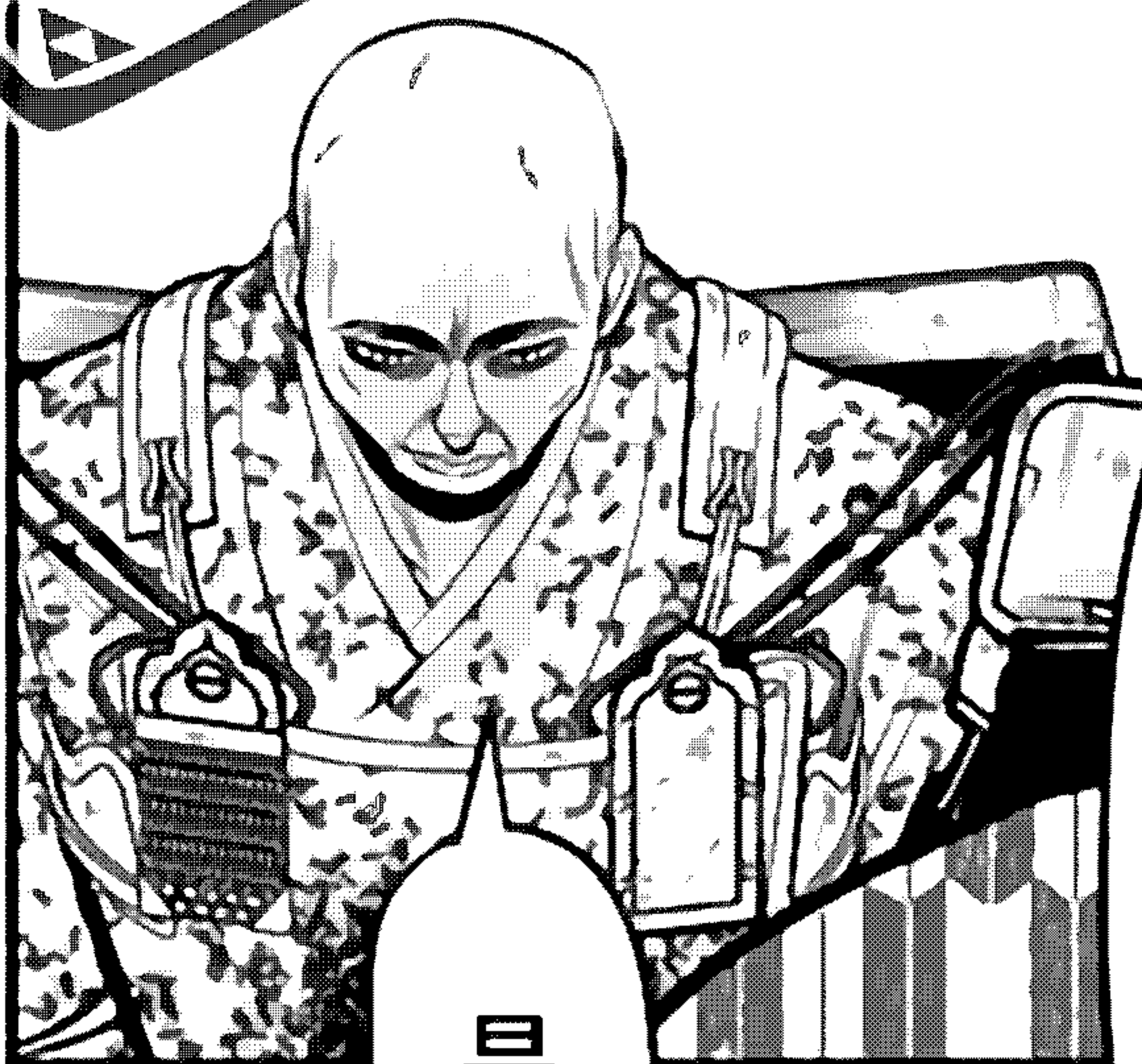
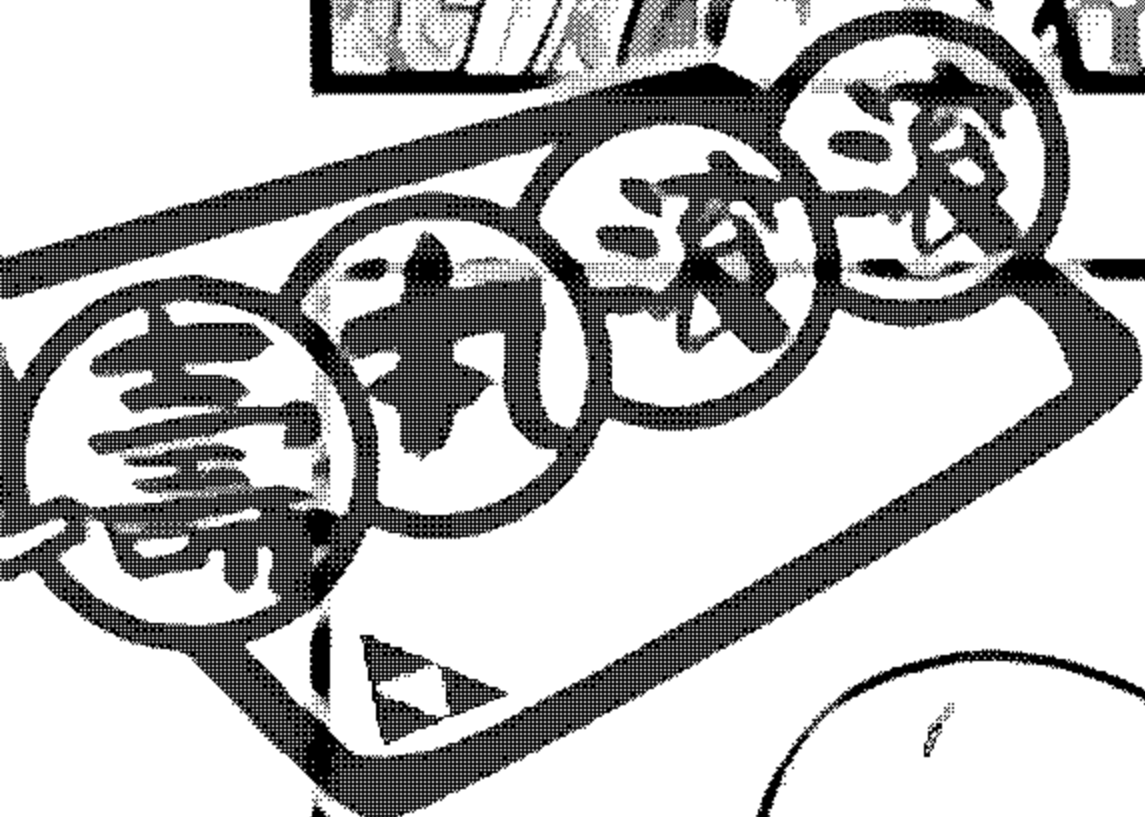




殿下

戰局完全  
如你所料

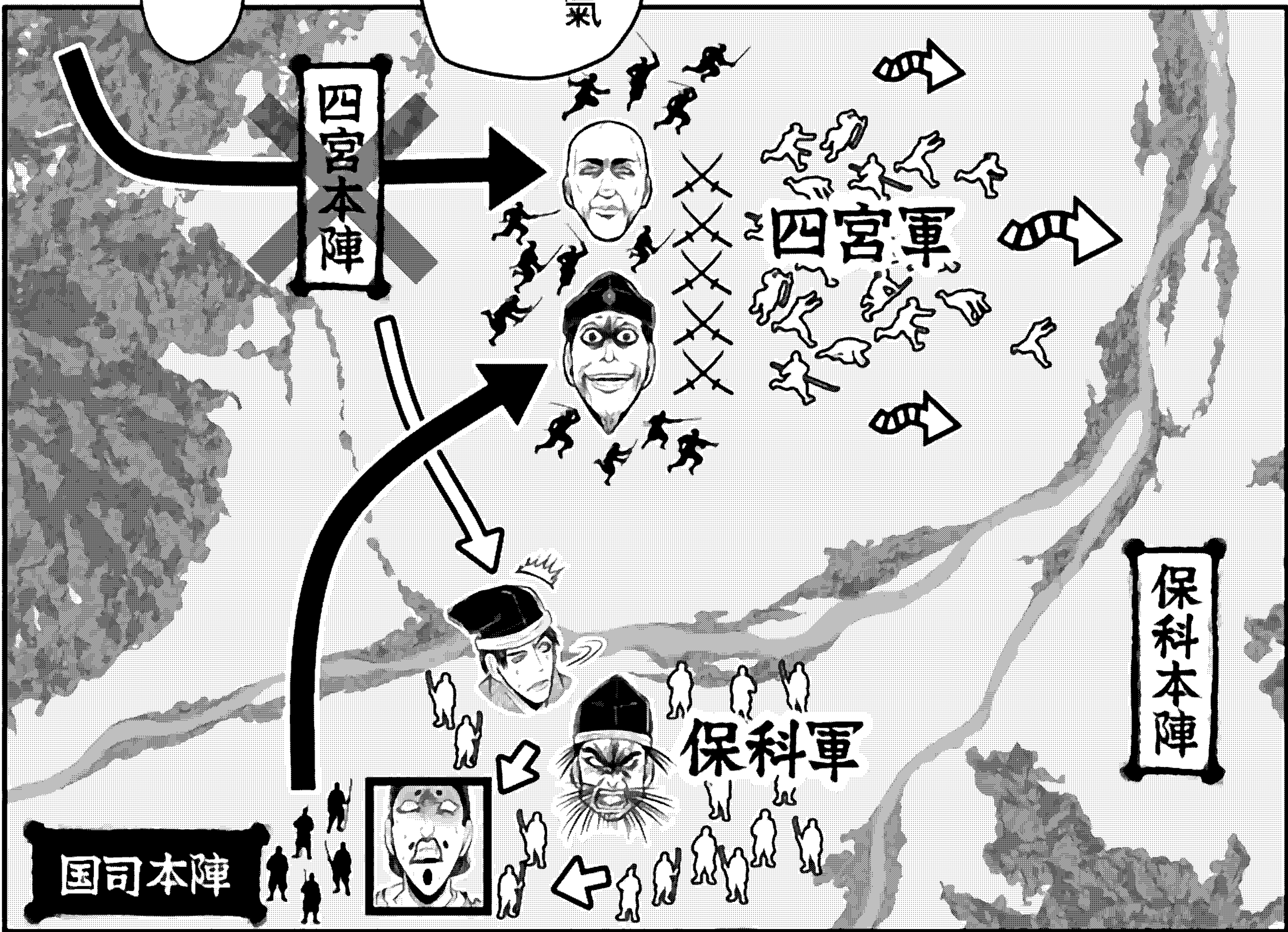
不愧是  
瘴奸



是

老朽也  
乘勝追擊  
突破了  
他們的防線

就這樣一鼓作氣  
將四宮軍  
驅逐出境！



四宮本陣

四宮軍

保科本陣

保科軍

国司本陣



僅因一名武將  
發起的一場奇襲

戰局就此  
天翻地覆

這就是  
戰爭

這就是……

策略!!





四宮殿下！



可惡  
居然趁我  
不在本陣時  
發動奇襲！



對不起！  
我能早點  
察覺的話



軍隊潰敗了  
就再也無法  
重振士氣

…不行



我們眼下要考慮的  
是如何給  
這場敗仗收場



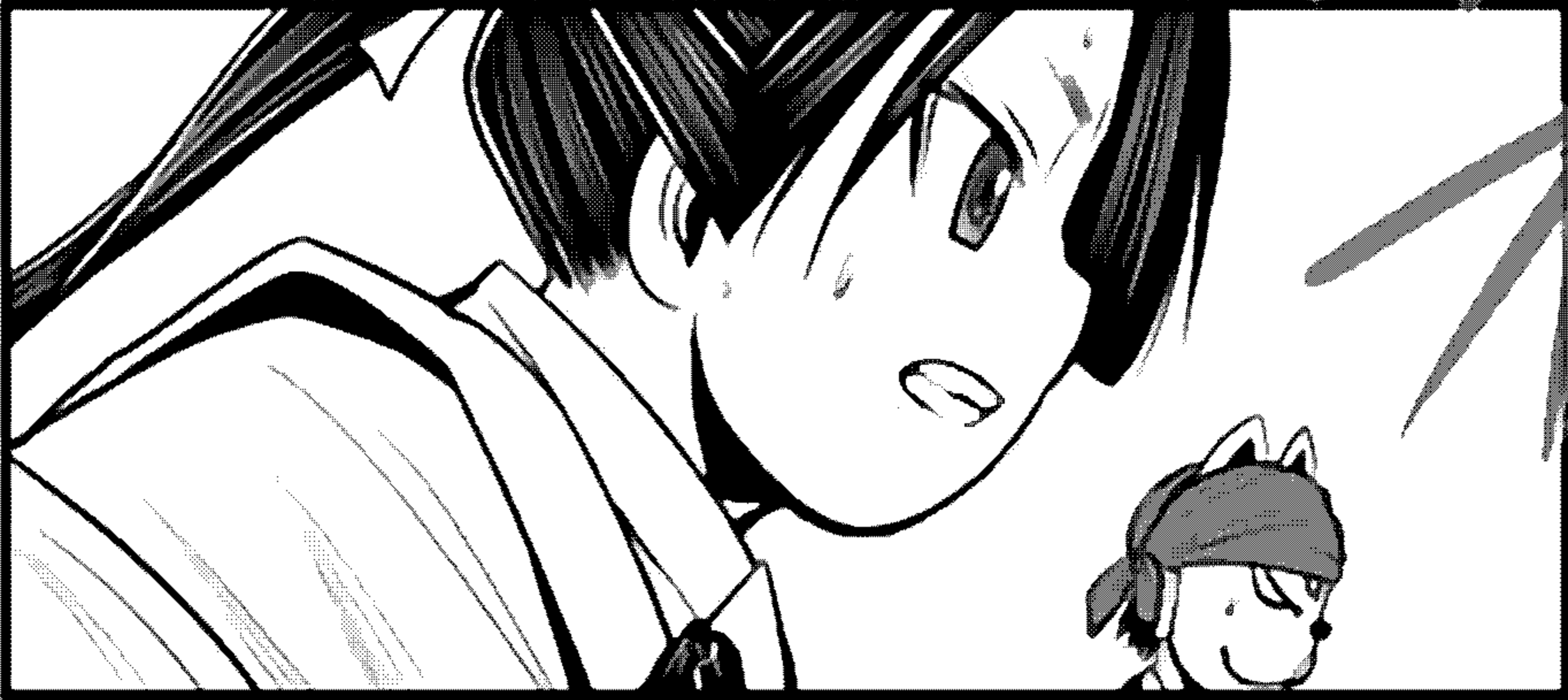
…別說傻話了  
武士盡會  
指望小孩子  
那還像什麼話



和保科  
那時一樣  
我的郎黨  
不會輕易  
放棄領地



若在這場混戰中  
留到最後  
必然全軍覆沒



很好！

繼續奮戰吧  
四宮黨！

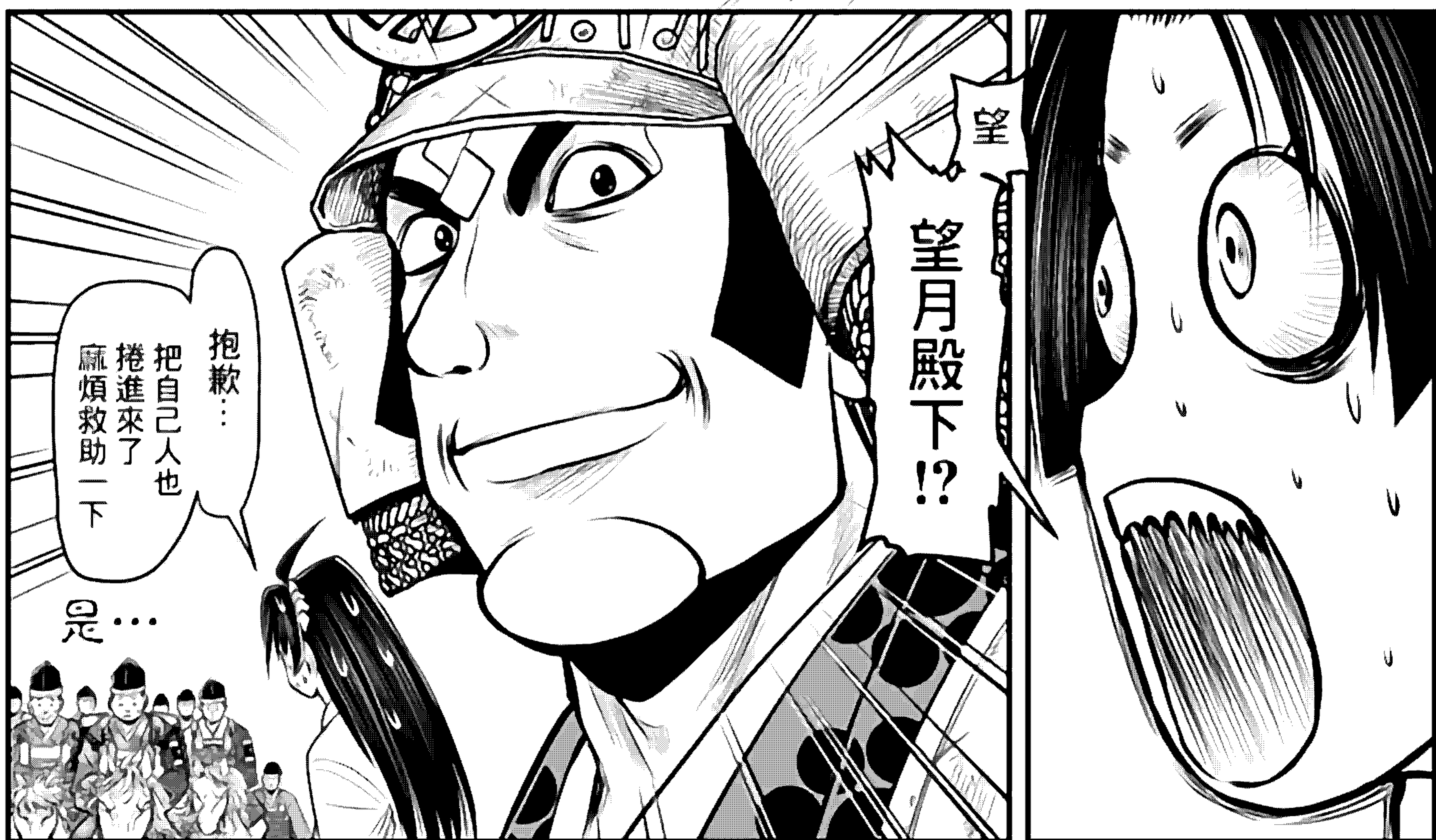
省了我們  
不少功夫  
太輕鬆了！



唔...











諏訪明神  
有朝一日  
必會崛起  
活下去等待  
那一天的到來！



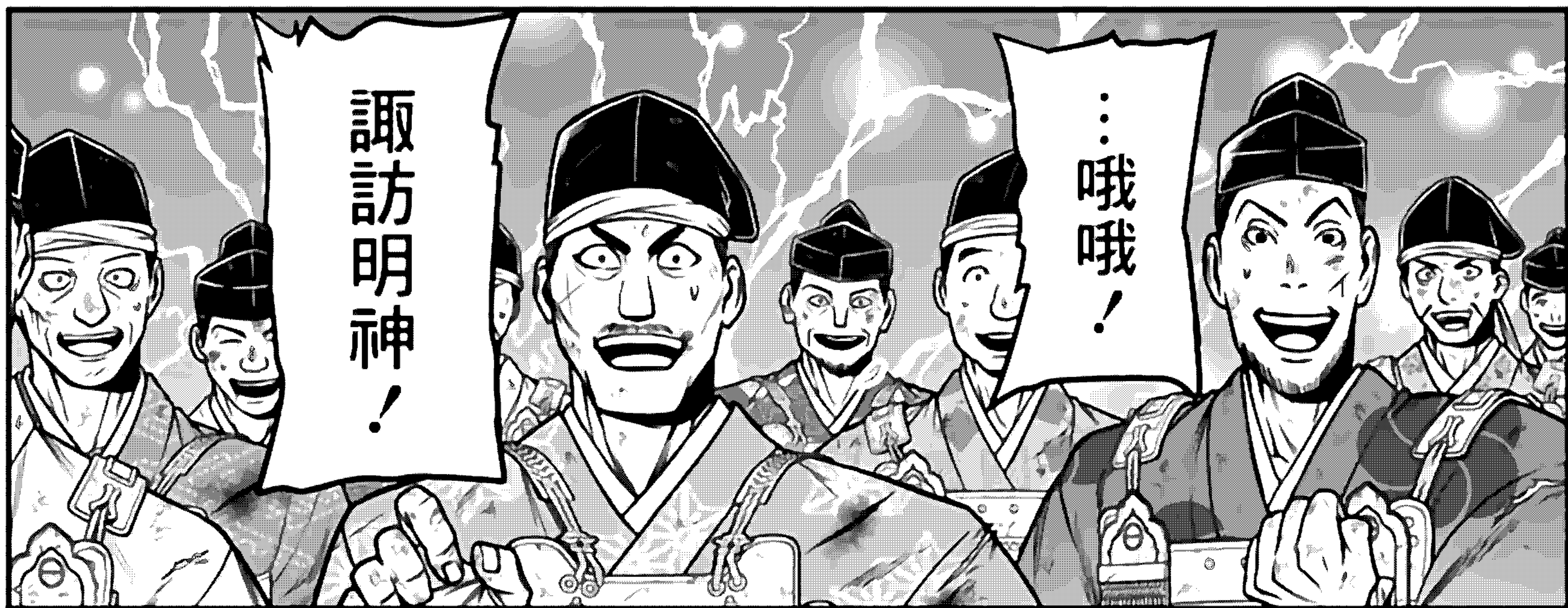
諏訪神黨  
三大將  
給四宮黨  
傳令！



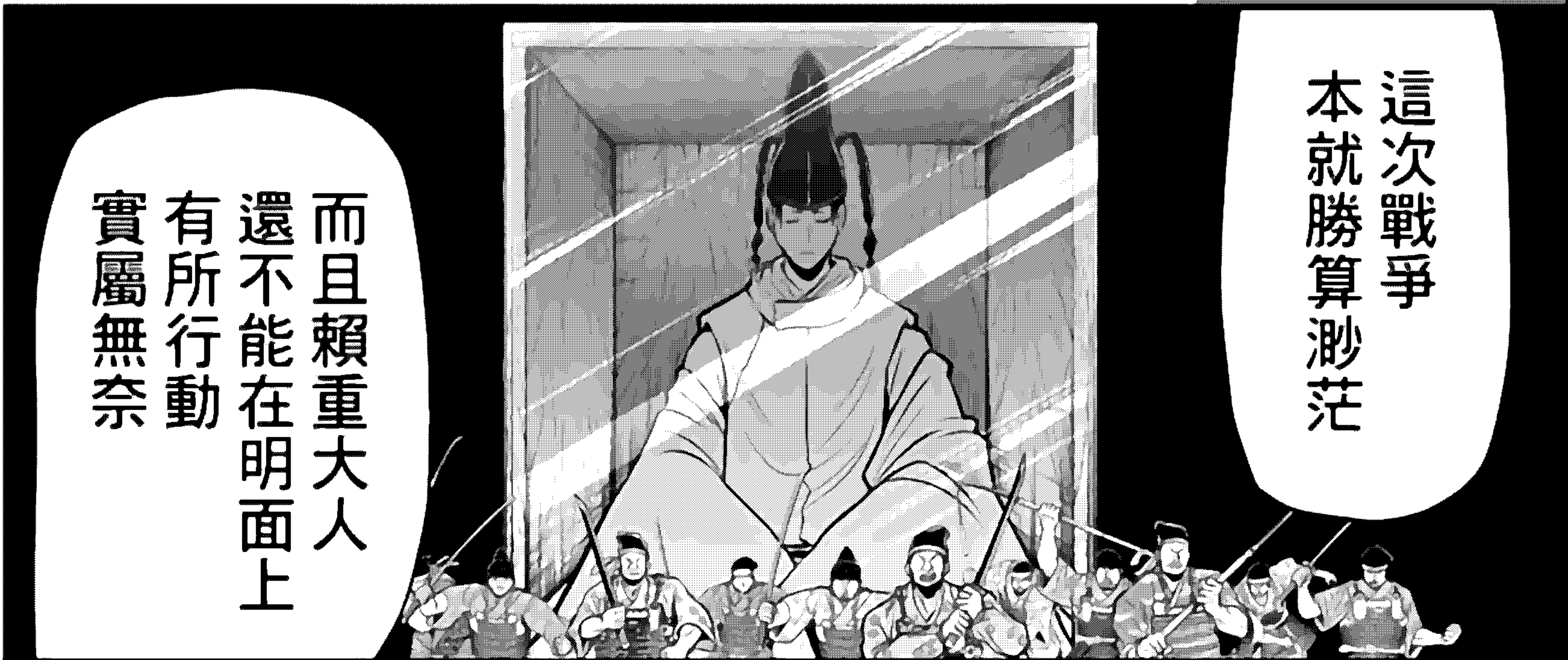
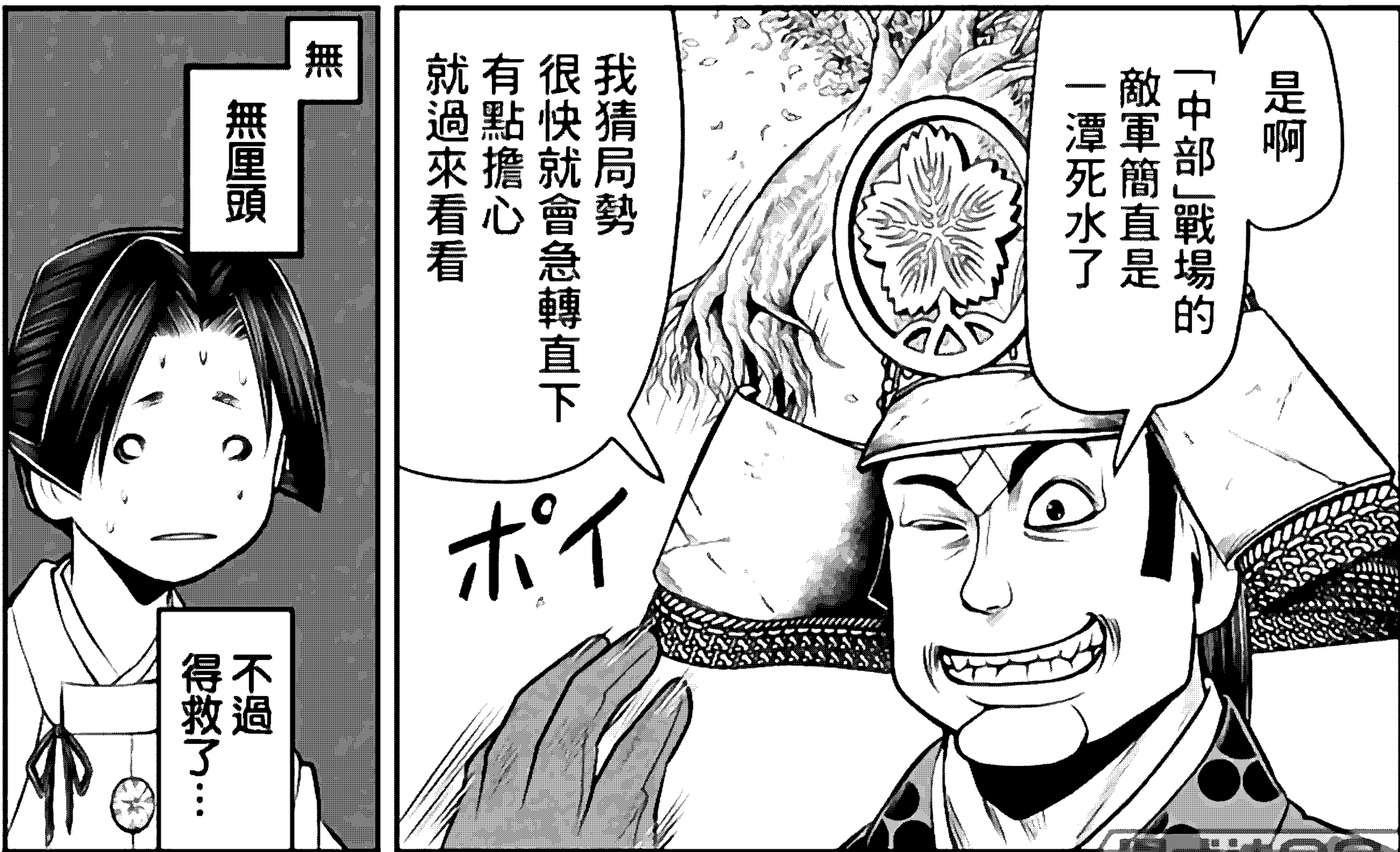
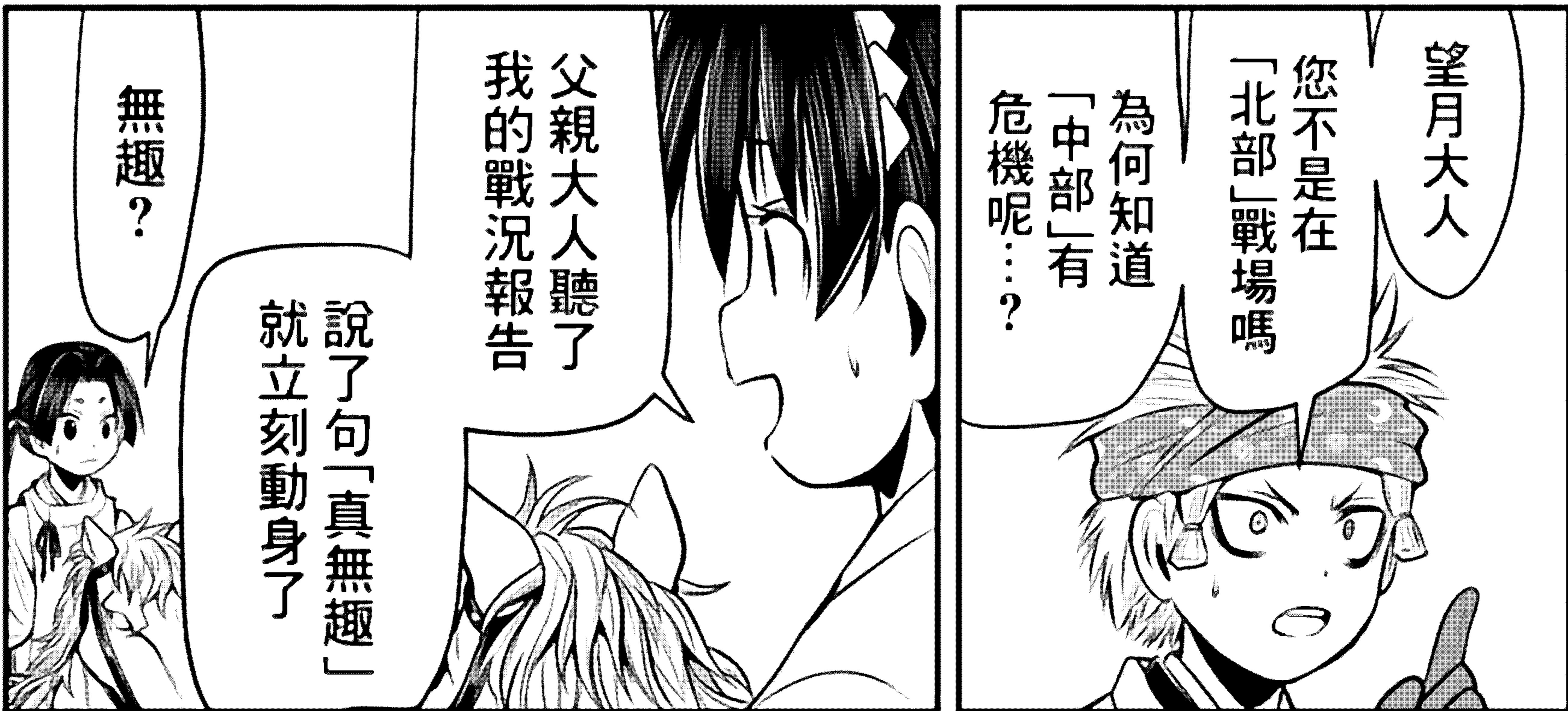
記住三十六計  
走為上！

我來殿後  
爭取一點時間  
諸位帶上家眷撤退  
至保科領地！











我已轉告犬甘、  
常岩兩氏

戰敗了  
就潛入深山

賴重大人  
也為此準備了  
物資和住宅

這只是  
前哨戰而已

四下

張望

極力避免  
傷亡

加強諏訪神黨的  
凝聚力才是  
賴重大人的目的

轉頭

賴重殿下  
居然考慮到  
這一步……

又是和  
瘴奸不同的  
深謀遠慮





少主

您為了諏訪神黨  
日夜兼程  
拼命奔走的  
奉獻姿態

讓您的同伴  
都深感欽佩

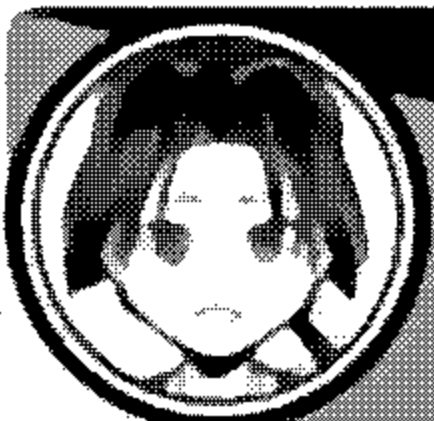


下次  
大戰

我等  
信濃子民……

勢必不吝相助  
為您效力

★龐大的戰力將歸順於這纖細卻堅實的脊梁!!



少主溜得快

第43話  
本話完



# 解説上手の若君

締めの研究帖は肉食と諏訪の関係について。以前の解説で当時の肉食はタブーであったと触れましたが諏訪には例外が！

## 第4回 深掘り！諏訪探究帖



当時の諏訪は肉食が許されていたの？

みなさんご存知の通り、作中の頼重は肉が大好きなんです。が、**当時、肉食はあまり歓迎されていませんでした。**「殺生はいかん」という仏の教えゆえです。そこで、鎌倉幕府は**全国に鷹狩り禁止令を出しました。**鷹狩りというのは、飼いなした鷹を使って兎や狐などの獲物を捕らえるハンティングゲーム。これも仏の教えが理由で禁止されましたが、鷹狩りには軍事訓練の性質もあったので、「地方の武将にあまり力をつけてほしくない」とか「農地を荒らすな」という事情もあったようです。ところが！「諏訪大明神への捧げもののための鷹狩りだけは許す」という**例外措置**がとられたのです。

頼重よりも少しあとの時代の神官は、「鹿肉がなければ祭にならない！」と書き残しています。江戸時代になっても、大祭の当番を受け持った村の記録によると、祭のために1トン以上の肉を用意したといっています。仏教くそくらえ！いやいや、中世以降は諏訪のお宮にもお

諏訪の知識を得た貴方様を任命しましょう

信濃仮面にツ！

信濃仮面

寺が付属していて、お坊さんが神前でお経を唱えていたようなのです。それでも**鹿肉を食べていた**んですね。

話は変わって、だいたい時代を遡りますが、古墳時代の諏訪もけっこうヘンです。古墳文化のピークは5世紀頃。「ヤマト直属です！」「実力を認められてます！」という証としての巨大な前方後円墳が大流行し、西から東北地方まで、でっかい古墳をドツカンドツカンつくっていた時期、諏訪では「弥生時代？」みたいな地味な古墳を、100年間くらいちまちまつくっていたようです。僻地といっても、そこまで隔絶してないんですけどね。その後、馬に乗って諏訪へ来た人たちのおかげで中央とのパイプもできま

すが、しばらくたつと、また微妙な扱いをされるようになります。

つまるどころ、昔から野蛮な、いや言葉悪いな……凶暴なノリじゃなくて……なんだか**独立した「強さ」を持ち続けていた地域**なのです。仏教主流の時代に神に肉を捧げ、共に食していたことも、そうした特徴のなごりなのかもしれません。天皇以外で「現人神」なんて名乗っていたのも非常に特殊です。ある意味、ガラパゴスのような地域だったともいえるでしょう。古代以来のその不思議な「強さ」を引き継いだ最後の時代が、頼重の時代なのかもしれません。でもそのクセの強さは、まだまだああとになつても続くんですけどね！

来年は、7年目ごとに巡り来る御柱祭。機会があれば、そのクセの強さを堪能してみてください。諏訪という地域と神様のクセの強さを紹介してきた特別編、今回でございました。ありがとうございました！



はああああ！



↑諏訪信仰では肉を食べることで動物は成仏するようだ。

石壁三千穂

ファミコン黎明期から00年代までコンピュータゲーム関連のライターとして活動。諏訪へ帰郷後は民俗史、民俗学の研究に没頭中。



# 卷末語

我是不喜歡  
柿種裡帶花生那一派的。  
只想一直把柿種  
嚼到沒味。

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

澤澤  
小氣

測試群

648466051

首發微博

@混成連合會

壽丸滾滾漢化

歡迎加入漢化

順位 3 / 20

W J 2 0 2 2 N O 2

第43話

少主溜得快

監製

三十二